

ならしん景気動向調査レポート

(第33回) 2023年 8月期

奈良信用金庫 経営企画本部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2023年8月
2. 調査時点..... 2023年8月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	38	97.4%
不動産業	17	16	94.1%
サービス業	12	12	100.0%
卸売・小売業	31	30	96.8%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	12	12	100.0%
全業種合計	134	131	97.8%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう134社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、131社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

2023年8月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	39	38	97.4%	28.9%	39.5%	21.1%	2.6%	44.7%	23.7%	5.3%	-7.9%
不動産業	17	16	94.1%	31.3%	50.0%	37.5%	31.3%	50.0%	56.3%	6.3%	-6.3%
サービス業	12	12	100.0%	-16.7%	0.0%	-16.7%	-41.7%	50.0%	41.7%	-8.3%	-16.7%
卸売・小売業	31	30	96.8%	-13.3%	16.7%	3.3%	-3.3%	33.3%	23.3%	-10.0%	-6.7%
建設業	14	14	100.0%	71.4%	85.7%	64.3%	78.6%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
運輸業	9	9	100.0%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	-33.3%
医療・福祉	12	12	100.0%	16.7%	25.0%	0.0%	33.3%	25.0%	8.3%	-8.3%	-33.3%
全業種合計	134	131	97.8%	18.3%	35.1%	17.6%	11.5%	42.0%	30.5%	-1.5%	-11.5%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	14	24	15	23		
不動産業	7	8	1	14		
サービス業	7	5	4	8		
卸売・小売業	10	18	4	24		
建設業	8	6	2	12		
運輸業	3	6	2	7		
医療・福祉	4	7	4	7		
全業種合計	53	74	32	95		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	(2) <u>やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) <u>普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	(4) <u>やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5\text{社}}{[60.0\%]} \right] - \left[\frac{(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5\text{社}}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

全体
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
20.3%	18.3%	-2.0%	24.2%	35.1%	10.9%	-0.8%	17.6%	18.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
12.5%	11.5%	-1.0%	32.8%	42.0%	9.2%	10.2%	30.5%	20.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
3.1%	-1.5%	-4.7%	-9.4%	-11.5%	-2.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
48.8%	41.7%	-7.1%	27.4%	25.2%	-2.2%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より2.0ポイント低下したものの、良化傾向(18.3%)を維持した。変化幅を下方へと向かわせたのは主に「サービス業」という結果になった。

売上は、前回調査時より10.9ポイント上昇し、良化傾向(35.1%)を維持。

収益面についても前回調査時より18.4ポイントの上昇となり、良化傾向(17.6%)と転じた。「不動産業」、「建設業」が上方へと向かわせる結果になった。

全体では前回同様に最も多くの企業が「仕入高・原材料高」を経営上の問題点として回答した。次点で「経費の増加」、「利益幅の縮小」、「人手不足」、「人件費の増加」と続いた。それらの解決策として「経費削減」「販路拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が特に多く見受けられた。

特別調査では、円安進行に伴う資源高・原材料高の影響について企業に回答いただいた。資源高・原材料高への対応について最も回答が多かったのは「概ね価格転嫁できている」で46社であった。前回調査時に「卸売・小売業」で「一部価格転嫁できている」と回答している企業が増加していたが、今回調査においてもほぼ横ばいの回答内容であった。信用金庫に求めることについては「資金繰り支援(融資スタンス)」を求める企業が65社と最も多く前回とほぼ同様であった。今回も「事業課題の共有・相談」が次点に続いた。「事業回復に向けてのビジネスマッチング」を求める企業の増加も特徴的であった。

全業種合計の前年同期比売上は9.2ポイント上昇し、良化傾向(42.0%)を維持。前年同期比の収益についても20.4ポイント上昇し、こちらも良化傾向(30.5%)を維持した。

なお、設備投資を行ったのは全体の25.1%であり、前回調査から2.3ポイントの低下となった。

今後3ヶ月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より「やや悪い」「やや良い」と回答した企業が減少し、「普通」と回答する企業が増加した。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている19社 (2) 全く価格転嫁できていない9社 (3) 一部価格転嫁できている44社 (4) 概ね価格転嫁できている46社 (5) あまり影響を受けていない17社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援65社 (2) 地域情報40社 (3) 業界動向28社 (4) 事業課題の共有・相談48社 (5) 補助金等の情報25社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング16社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」37社、「普通」77社、「やや悪い」12社、「悪い」2社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」40社、「普通」79社、「やや悪い」10社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」36社、「普通」81社、「やや悪い」11社、「悪い」1社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

製造業	対象先 39	回答先 38	回答率 97.4%
------------	--------	--------	-----------

**業種別
調査結果**

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
29.7%	28.9%	-0.8%	35.1%	39.5%	4.3%	-13.5%	21.1%	34.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
2.7%	2.6%	-0.1%	48.6%	44.7%	-3.9%	13.5%	23.7%	10.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
10.8%	5.3%	-5.5%	-5.4%	-7.9%	-2.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	36.8%	-13.2%	36.1%	39.5%	3.4%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時より0.8ポイント低下したものの、良化傾向(28.9%)を維持した。売上金額については4.3ポイント上昇し、前回同様に良化傾向(39.5%)を維持した。原材料価格についても前回調査時と比較して4.5ポイント改善したが、悪化傾向(-65.8%)を維持した。収益についても、前回比で34.6ポイント改善し、良化傾向(21.1%)に転じた。

資金繰りについては前回調査時よりほぼ横ばい推移し、良化傾向(2.6%)を維持した。なお、借入によって資金調達を行った先は全体の36.8%であり、前回より減少した。

前年同期比売上は前回より3.9ポイント減少したものの、良化傾向(44.7%)を維持。また、同収益は前回調査時より10.2ポイント増加となり、良化傾向(23.7%)に転じた。残業時間については前回から5.5ポイント低下したものの、良化傾向(5.3%)を維持した。人材については2.5ポイント低下し、悪化傾向(-7.9%)を維持した。なお、設備投資を行った先は全体の39.5%で、前回より3.4ポイント増加している。

■経営上の問題点

前回調査と同様に、経営上の問題点として「原材料高騰」が26社で最も多く、次点で「利益幅の縮小」が17社、「経費の増加」と「売上停滞・減少」が10社と続いた。

■当面の重点経営施策

重点経営施策としては「販路拡大」が19社と最も多かった。次いで「経費節減」15社、「原価圧縮」14社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている8社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている14社 (4) 概ね価格転嫁できている16社 (5) あまり影響を受けていない0社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援24社 (2) 地域情報8社 (3) 業界動向10社 (4) 事業課題の共有・相談17社 (5) 補助金等の情報10社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング6社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」12社、「普通」22社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」10社、「普通」24社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」10社、「普通」24社、「やや悪い」4社、「悪い」0社

業況・売上・収益については前期比も含め景気拡張。原材料価格の高騰がみられるが、販売価格に転嫁できつつあり、収益も改善しているという結果となった。前回調査と同様に、原材料や燃料費等経費の高騰がみられる。経営上の問題点として「経費増加」や「利益幅の縮小」と回答する企業が増加した。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
20.0%	31.3%	11.3%	26.7%	50.0%	23.3%	13.3%	37.5%	24.2%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
26.7%	31.3%	4.6%	26.7%	50.0%	23.3%	20.0%	56.3%	36.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
20.0%	6.3%	-13.8%	0.0%	-6.3%	-6.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
57.1%	46.7%	-10.5%	7.1%	6.7%	-0.5%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より11.3ポイント上昇し、良化傾向(31.3%)を維持。売上についても23.3ポイント上昇し、良化傾向(50.0%)を維持。収益については24.2ポイント増加し、良化傾向(37.5%)となった。

資金繰りについては4.6ポイント上昇し、良化傾向(31.3%)を維持した。借入によって資金調達を行った先は全体の46.7%であり、10.5%低下した。

前年同期比売上は23.3ポイント上昇となり、良化傾向(50.0%)を維持した。同収益については、36.3ポイント上昇し、良化傾向(56.3%)を維持した。残業時間については前回調査時から13.8%低下したものの、良化傾向(6.3%)となった。人材については6.3ポイント低下し、悪化傾向(-6.3%)に転じた。設備投資実施企業は前回調査時と比べ0.5%低下したものの、良化傾向(6.7%)を維持した。

■経営上の問題点

経営課題としては、「同業者競争の激化」「商圈人口の減少」「利益幅の縮小」が4社ずつとなった。

■当面の重点経営施策

当面の対策は「情報力の強化」が最も多く「販路拡大」が次点に続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1)多大な影響を受けている0社 (2)全く価格転嫁できていない2社 (3)一部価格転嫁できている3社 (4)概ね価格転嫁できている3社 (5)あまり影響を受けていない8社 (6)今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1)資金繰り支援5社 (2)地域情報9社 (3)業界動向4社 (4)事業課題の共有・相談2社 (5)補助金等の情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7)その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」5社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」5社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
<p>不動産業は業況・売上・収益DIIに関しては前回調査時から大幅に上昇という結果となった。当面の重点経営施策として「情報力の強化」「販路拡大」と回答した企業が多く、好調な業況の中で積極的な仕入れを行おうとしている姿勢が見て取れる。今後3ヶ月見込みに関しては「やや良い」「普通」と回答した企業がほとんどであり、前回同様に業況として良好に推移している結果となった。</p>	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
30.0%	-16.7%	-46.7%	10.0%	0.0%	-10.0%	10.0%	-16.7%	-26.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
30.0%	-41.7%	-71.7%	30.0%	50.0%	20.0%	30.0%	41.7%	11.7%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
10.0%	-8.3%	-18.3%	-10.0%	-16.7%	-6.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
60.0%	58.3%	-1.7%	55.6%	33.3%	-22.2%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から46.7ポイント減少し、悪化傾向(-16.7%)となった。

売上金額については10.0ポイント減少し、中立(0.0%)となった。

収益についても26.7ポイント減少し、悪化傾向(-16.7%)となった。

さらに材料価格についても18.3ポイント低下し、悪化傾向(-58.3%)を維持した。

前年同期比売上は前回調査時から20.0ポイント上昇し、良化傾向(50.0%)を維持した。

同収益についても11.7ポイント上昇し、良化傾向(41.7%)を維持した。

人材については6.7ポイント低下し、悪化傾向(-16.7%)を維持した。

また、残業時間についても18.3ポイント低下し、悪化傾向(-8.3%)に転じた。

借入によって資金調達を行った先は前回から横ばいで、58.3%であった。

設備投資を行った先は全体の33.3%であり、前回調査時より22.3ポイント低下した。

■経営上の問題点

今回は「人件費の増加」が7社で最も多く、次点で「人手不足」「同業者競争の激化」が6社と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の重点経営施策は前回調査と同様で「人材確保」と回答する企業が最も多かった。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている9社 (4) 概ね価格転嫁できている1社 (5) あまり影響を受けていない1社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援4社 (2) 地域情報3社 (3) 業界動向0社 (4) 事業課題の共有・相談8社 (5) 補助金等の情報5社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング3社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」8社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
<p>前回調査時より業況・売上・収益の全項目においてポイント減少し、悪化傾向に転じた。前年対比では改善が見られる。</p> <p>材料価格については前回調査時よりさらに18.3ポイント低下しており、物価上昇による利益幅の減少は深刻化している。</p> <p>資金繰りが大幅に悪化している。ゼロゼロ融資の返済開始による影響が出ているものと考えられる。</p>	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
3.2%	-13.3%	-16.6%	9.7%	16.7%	7.0%	-12.9%	3.3%	16.2%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-3.2%	-3.3%	-0.1%	35.5%	33.3%	-2.2%	-3.2%	23.3%	26.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	-10.0%	-10.0%	-3.2%	-6.7%	-3.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
41.9%	35.7%	-6.2%	12.9%	14.3%	1.4%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から16.6%低下し、悪化傾向(-13.3%)に転じた。売上に関しては7.0ポイント上昇し、良化傾向(16.7%)を維持。収益については16.2ポイント上昇し、良化傾向(3.3%)に転じる結果となった。仕入れ価格については、前回調査時より11.0ポイント低下し、悪化傾向(-40.0%)を維持した。在庫については前回比で13.8ポイント低下し、悪化傾向を維持した。

前年同期比売上については2.2ポイント低下したものの、良化傾向(33.3%)を維持。また、同収益については26.6%上昇し、良化傾向(23.3%)に転じた。人材については3.4ポイント低下し、悪化傾向(-6.7%)を維持した。残業時間については前回調査時より10.0ポイント低下し、悪化傾向(10.0%)となった。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の35.7%で前回より減少した。設備投資割合については、前回調査時とほぼ横ばいとなった。

■経営上の問題点

前回調査時と同様に「材料高」が15社で最も多く、次点に「売上停滞・減少」が9社と続いた。

■当面の重点経営施策

「経費削減」が15社で最も多く、次点は「販路拡大」「情報力の強化」が9社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている4社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている12社 (4) 概ね価格転嫁できている12社 (5) あまり影響を受けていない1社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援18社 (2) 地域情報7社 (3) 業界動向4社 (4) 事業課題の共有・相談9社 (5) 補助金等の情報4社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング5社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」19社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」20社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」20社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

仕入れ価格、在庫については大幅に悪化しているものの、販売価格には一部転嫁でき売上・収益は改善している。経営上の問題点として、「材料高」「売上停滞・減少」「経費の増加」「人件費の増加」が多い。当面の重点経営施策としては、「経費削減」「仕入れ価格調整」が多くコストダウンによる収益改善が必要と考えている。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
50.0%	71.4%	21.4%	50.0%	85.7%	35.7%	35.7%	64.3%	28.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.7%	78.6%	42.9%	21.4%	57.1%	35.7%	21.4%	42.9%	21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-7.1%	0.0%	7.1%	-14.3%	0.0%	14.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
64.3%	57.1%	-7.1%	7.1%	14.3%	7.1%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から21.4ポイント上昇し、良化傾向(71.4%)を維持した。

売上金額についても35.7ポイント上昇し良化傾向(85.7%)を維持。

受注残高についても50.0ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(71.4%)を維持した。

収益については、28.6ポイント上昇し、良化傾向(64.3%)を維持した。

資金繰りについても、前回から42.9%上昇し、良化傾向(%)を維持した。

前年同期比売上は35.7ポイント上昇し、良化傾向(57.1%)を維持した。

同収益についても、前回調査時から21.4ポイント上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。

残業時間については前回から7.1ポイント上昇し、中立(0.0%)となった。

人材についても前回調査時から14.3ポイント上昇し、中立(0.0%)にととなった。

借入により資金調達を行った先は57.1%であり、前回調査時から7.1%低下した。

■経営上の問題点

今回は、「同業者競争の激化」「人手不足」が6社と最も多かった。

■当面の重点経営施策

「人材確保」「情報力の強化」が6社で最も多く、次点で「技術力・営業力強化」が5社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている0社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている1社 (4) 概ね価格転嫁できている11社 (5) あまり影響を受けていない2社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援4社 (2) 地域情報8社 (3) 業界動向6社 (4) 事業課題の共有・相談5社 (5) 補助金等の情報3社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」7社、「普通」6社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」8社、「普通」6社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」7社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
業況・売上・収益DIにおいて前回調査時よりも大幅に上昇し、良化傾向を維持した。 経営上の問題点、重点施策においてともに「人手不足(人材確保)」という回答が多く挙げられた。 今後3ヶ月見込みについては「やや悪い」「悪い」と回答した企業は前回同様に0社であり好況が継続されている。	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	33.3%	-11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.1%	0.0%	-11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	33.3%	22.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-22.2%	0.0%	22.2%	-11.1%	-33.3%	-22.2%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
33.3%	33.3%	0.0%	55.6%	22.2%	-33.3%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より11.1ポイント上昇し、良化傾向(22.2%)を維持した。
売上金額が11.1ポイント低下したものの、良化傾向(33.3%)を維持した。
収益については11.1%上昇し、良化傾向(11.1%)に転じた。

資金繰りについては11.1ポイント低下し、中立(0.0%)となった。

借入によって資金調達を行った先は前回同様の推移となった。

前年同期比売上は前回から横ばいで、良化傾向(33.3%)を維持した。
同収益については、22.2ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)となった。

人材については22.2ポイント低下し、悪化傾向(-33.3%)を維持した。
残業時間については、前回より22.2ポイント上昇し、中立に転じた。

■経営上の問題点

前回調査と同様に「経費の増加」が5社で最も多く、次点に「人手不足」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

「経費削減」が5社で最も多く、次点で「販路拡大」「人材確保」「料金調整」が4社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている5社 (4) 概ね価格転嫁できている1社 (5) あまり影響を受けていない1社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援4社 (2) 地域情報1社 (3) 業界動向2社 (4) 事業課題の共有・相談5社 (5) 補助金等の情報0社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」3社、「やや悪い」2社、「悪い」0社

業況・収益DIにおいて、前回調査時から上昇しており改善傾向にある。
経営課題として「経費の増加」「人手不足」が、重点施策として「経費削減」「販路拡大」「人材確保」「料金調整」が多く挙げられた。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	16.7%	16.7%	-8.3%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	25.0%	25.0%	-8.3%	8.3%	16.7%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-8.3%	-8.3%	0.0%	-41.7%	-33.3%	8.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
36.4%	36.4%	0.0%	45.5%	36.4%	-9.1%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査から16.7ポイント上昇し、良化傾向(16.7%)に転じた。
 売上金額についても33.3ポイント上昇し、良化傾向(25.0%)に転じた。
 ベット稼働率についても33.3ポイント上昇し、良化傾向(25.0%)に転じた。
 通院者数については前回から16.7ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)を維持した。
 収益についても前回調査から横ばいで、中立を維持した。

資金繰りについては8.3ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)を維持。
 借入によって資金調達を行った先は全体の36.4%であり、前回と同様となった。
 設備投資を行った先は36.4%と前回より9.1ポイント低下となった。

前年同期比売上は前回調査時から25.0ポイント上昇し、良化傾向(25.0%)に転じた。
 同収益についても同様に、16.7ポイント上昇し、良化傾向(8.3%)に転じた。
 残業時間は前回と横ばいで推移し、悪化傾向(-8.3%)を維持した。
 人材については前回から8.3ポイント上昇したものの、悪化傾向(-33.3%)を維持した。

■経営上の問題点

前回と同様に「人手不足」が最も多く7社であり同点で「経費の増加」も7社となった。

■当面の重点経営施策

前回と同様に「人材確保」が6社で最も多く、次点で「経費削減」が5社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている3社 (2) 全く価格転嫁できていない3社 (3) 一部価格転嫁できている0社 (4) 概ね価格転嫁できている2社 (5) あまり影響を受けていない4社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援6社 (2) 地域情報4社 (3) 業界動向2社 (4) 事業課題の共有・相談2社 (5) 補助金等の情報1社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」9社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」1社

業況・売上DIにおいてともに上昇しており、良化傾向に転じた。また、収益においては前回から横ばいで中立を維持した。コロナ5類へ移行から売上は安定傾向にある。
 また一方で、人材DIは前回調査時より8.3ポイント上昇したものの悪化傾向を維持。前回調査同様、「人手不足」が経営上の問題点として挙げられている。